

第1回 2022年7月24日(日) 10:00~13:00
歯周と全身のマネジメント:管理・ケアの実践

「医科歯科連携の始め方 実践編」押村 憲昭 先生
「糖尿病・心筋梗塞・フレイル患者への対応」吉江 弘正 先生

第2回 2022年8月28日(日) 10:00~13:00
歯周治療におけるバイオフィルムのマネジメント

「歯周疾患をターゲットとしたバイオフィルムマネジメント」小林 明子 先生
「バイオフィルムの特性と処置法」吉江 弘正 先生

第3回 2022年9月25日(日) 10:00~13:00
歯周再生治療のための硬組織、軟組織のマネジメント

「解剖学的要因とフラップマネジメント」水上 哲也 先生
「さまざまな術式からどれを選択するか、どのように適応するか」水上 哲也 先生
「再生の条件と材料・薬剤」吉江 弘正 先生

第4回 2022年10月30日(日) 10:00~13:00
「レーザー治療」と「歯科医療チームのマネジメント」

「日常臨床でのWater Lase 活用法とチーム医療の実践」林 美穂 先生
「レーザーの特性・SRPへの応用」吉江 弘正 先生

第5回 2022年11月20日(日) 10:00~13:00
歯周病患者のためのインプラント:総合的マネジメント

「歯周病患者におけるインプラント・マネジメント」二階堂 雅彦 先生
「全身管理に目を向けよう!歯科衛生士にできる全身管理とメンテナンス」阿部田 暁子 先生
「インプラント周囲疾患」吉江 弘正 先生

講師



吉江 弘正 先生



押村 憲昭 先生



小林 明子 先生



水上 哲也 先生



林 美穂 先生



二階堂 雅彦 先生



阿部田 暁子 先生

講演内容の詳細は
裏面をご確認下さい



歯周病患者^{ウェビナー}における マネジメント

本セミナーは、7名の講師による計5回オンラインコースで、歯周病患者におけるマネジメント(予防・治療・管理)を共通キーワードとしました。現在、特に重要でトピックスも多い「全身疾患」「バイオフィルム」「再生治療」「レーザー治療」「インプラント」を取り上げ、歯科医師・歯科衛生士向けに企画しました。学術と実践の両面、十分なQ&A時間・スライド資料の事前郵送が特徴です。歯科治療をさらに広げたいかた、歯周治療のレベルアップを目指すかた、新しい知識・技術を得たいかた等の、参加をお待ちしております。

主催：株式会社デンタリード / 白水貿易株式会社

受講費

歯科医師 各回 4,000 円(税込)

歯科衛生士 各回 2,000 円(税込)

定員

各回 100 名

受講環境

ウェビナー受講には、パソコン または モバイル、Zoomアプリ(無料) が必要ですので、予めご準備ください。

※ ご自宅またはインターネットを使用できる環境でご受講願います。
※ 視聴環境を満たしていても、端末、通信状況によっては正常にご視聴できないことがあります。予めご了承願います。

申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、Webまたはメール、FAXでお申込み下さい。



Web <https://www.dentalead.co.jp/seminar/other/384>

メール seminar@dentalead.co.jp

※ お申込確認後、ご登録メールアドレス宛に申込確認メールが届きます。ご受講に関する大切なご案内のため、必ずご確認をお願い致します。

※ ZoomID・パスワード、事前資料はご入金確認後、セミナー当日から2週間程前に送付致します。(事前資料は吉江先生のスライドのみとなります)

歯周病患者におけるマネジメント 参加申込書

申込先 FAX▶03-5217-0366

フリガナ				☐ 歯科医師	医院名
お名前				☐ 歯科衛生士	
医院住所	〒				
医院TEL				医院FAX	
Zoom視聴用 E-mail					
参加希望日	☐ 第1回(7月24日)	☐ 第2回(8月28日)	☐ 第3回(9月25日)	☐ 第4回(10月30日)	☐ 第5回(11月20日)

ホスト講師

第1回 糖尿病・心筋梗塞・フレイル患者への対応

歯周病との関連がある糖尿病や心臓血管疾患について、その特性や関連性、具体的な臨床対応について説明します。また、ますます増加するフレイル・要介護者について、医療連携を含めて、できることは何か考えてみましょう。

第2回 バイオフィルムの特性と処置法

歯周病はバイオフィルム感染症でもあり、バイオフィルムの特性と臨床手技との関わりについて説明します。歯肉縁上の対応としての歯ブラシ・歯磨剤・洗口液、歯肉縁下の対応としてのSc・SRP、さらにはSRPの効果促進・代替・補助法についても概説します。

第3回 再生の条件と材料・薬剤

イントロとして、歯周治療における再生の条件について症例を主体に述べます。また、約60年間でグローバルに使用された再生材料・薬剤について概説します。

第4回 レーザーの特性・SRPへの応用

イントロとして、各種レーザーについての特性とレーザー臨床研究を概説します。特に、Er:YAGとEr,Cr:YSGGレーザーによる歯周炎・インプラント周囲炎への応用を話します。

第5回 インプラント周囲疾患

イントロとして、近年歯科において欠かせなくなったインプラントに関連して、注視すべきインプラント周囲疾患を取り上げます。現在の考えかた、予防・治療法について概説します。



吉江 弘正 先生

1977年 新潟大学歯学部卒業、歯科医師
1981年 新潟大学大学院修了、歯学博士
1996年 日本歯周病学会 指導医(現在まで)
1999年 新潟大学歯学部教授(歯周病学)
2011年 日本歯周病学会理事長(-2013)
2018年 新潟大学定年退職、名誉教授

ゲスト講師

第1回 医科歯科連携の始め方 実践編

近年歯周病と糖尿病など全身疾患との関係性は注目されてきています。しかしながら、現状として歯科医院に内科などから糖尿病患者さんなどが紹介されてくることは日常でしょうか? 医科歯科連携の必要性が騒がれる昨今でありながら医科歯科連携は思うようには進んでいないのが現状です。医師の先生方の興味を惹く、明日から誰にでも実践でき地域で真の医科歯科連携が進むノウハウを提供させていただきます。



押村 憲昭 先生

2010年 愛知学院大学歯学部卒業
2011年 愛知学院大学歯学部附属病院 研修医修了
2012年 静岡県の敬天堂歯科医院勤務
2015年 名古屋市内の医院にて勤務
2018年 おしむら歯科勤務
2020年 かすもり・おしむら歯科開業

第2回 歯周疾患をターゲットとしたバイオフィルムマネジメント

バイオフィルム感染症と言われる歯周病は細菌と生体との均衡が崩れてきた時に発症、進行することがわかってきました。そのためブローケアではプラークの減少を目指すのではなく、様々なリスクを考慮し継続的に管理を行う事が重要です。今回は臨床現場でのバイオフィルム感染症管理の捉え方、取り組みについて解説します。

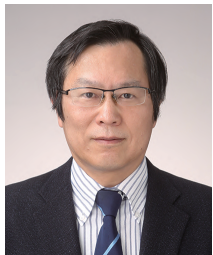


小林 明子 先生

1977年 東京歯科技工専門学校卒業 同校講師
1997年 日本医歯学歯科衛生士専門学校卒業
2009年 人間総合科学大学人間総合科学科卒業
現在 小林歯科医院(東京都)
歯周学会認定歯科衛生士
臨床歯周病学会認定指導歯科衛生士

第3回 ① 解剖学的要因とフラップマネジメント ② さまざまな術式からどれを選択するか、どのように適応するか

現在、歯周組織再生療法にはさまざまな術式があり成果が挙げられていますが、いずれの術式も一長一短がありその特性を理解したうえで選択適応しなければなりません。今回の講演では、前半で解剖学的な要因を踏まえたうえでフラップデザインを選択し形成するための基本的な考えと術式の詳細について、後半ではそれぞれの術式のメリットデメリットを考察したうえで具体的な応用法について解説したいと思います。



水上 哲也 先生

1985年 九州大学歯学部卒業
1987年 九州大学第1補綴学教室文部教官助手
1989年 西原デンタルクリニック勤務
1992年 福岡県福津市(旧宗像郡)にて開業
2007年 九州大学歯学部臨床教授
2011年 鹿児島大学歯学部非常勤講師

第4回 日常臨床でのWater Lase活用法とチーム医療の実践

昨今の歯科医療の進歩は目覚ましく、一般歯科医院においてもレーザーの普及率は高くなっています。当院では約18年前よりエルビウム・Cr:YSGGレーザー(Water Lase)を臨床に応用しています。その使用法や特徴などをご紹介させていただきます。また、歯科治療はチーム力が重要です。後半では、当院のチーム医療の実践についてお話しします。



林 美穂 先生

1992年 日本歯科大学歯学部卒業
1992年 九州大学歯学部歯科補綴学第一教室勤務
1994年 福岡市、ゲン歯科クリニック勤務
1998年 歯科・林美穂医院開院
2011年 歯学博士取得

第5回 歯周病患者におけるインプラント・マネジメント

インプラント周囲炎は歯周炎と同様に多因子性の疾患です。歯周炎と多くの病因を共有する一方、インプラント埋入の問題、またデザイン、表面正常など、歯周炎以上に複雑な病因がインプラント周囲炎治療を難しくしています。本ウェビナーでは、この困難な疾患に対する文献的な考察と演者の取り組みをご覧いただきます。



二階堂 雅彦 先生

1981年 東京歯科大学卒業
1997年 タフツ大学歯学部歯周病学大学院修了
2003年 アメリカ歯周病学ボード専門医
2015-17年 日本臨床歯周病学会理事長

第5回 全身管理に目を向けよう! 歯科衛生士にできる全身管理とメンテナンス

皆様は日常の臨床の中でその患者さんをどのくらい知っていますか? モニタリングはできますか? 血圧を測ったことはありますか? 私たち歯科衛生士は口腔内のみならず、患者自身の情報を知ることにより安全な医療を提供することができます。本日は視野を少し広げて患者をより深く知るためのノウハウについてお話しします。



阿部田 暁子 先生

1985年 日本歯科大学附属歯科専門学校
(現日本歯科大学東京短期大学) 卒業
公社)インプラント専門歯科衛生士
一社)日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士
一社)日本医療機器学会 第2種滅菌技士

申込状況等
お問い合わせ先



株式会社 デンタリード

本社/大阪市淀川区新高1-1-15
東京営業所/東京都千代田区神田小川町1-11 クロスタ12F

✉ seminar@dentalead.co.jp

TEL:06-6396-4448 FAX:0120-24-0892
TEL:03-5217-0353 FAX:03-5217-0366

